



Smart Access Vehicle Service

スマートモビリティへの取り組み

公立はこだて未来大学発ベンチャー

株式会社未来シェア

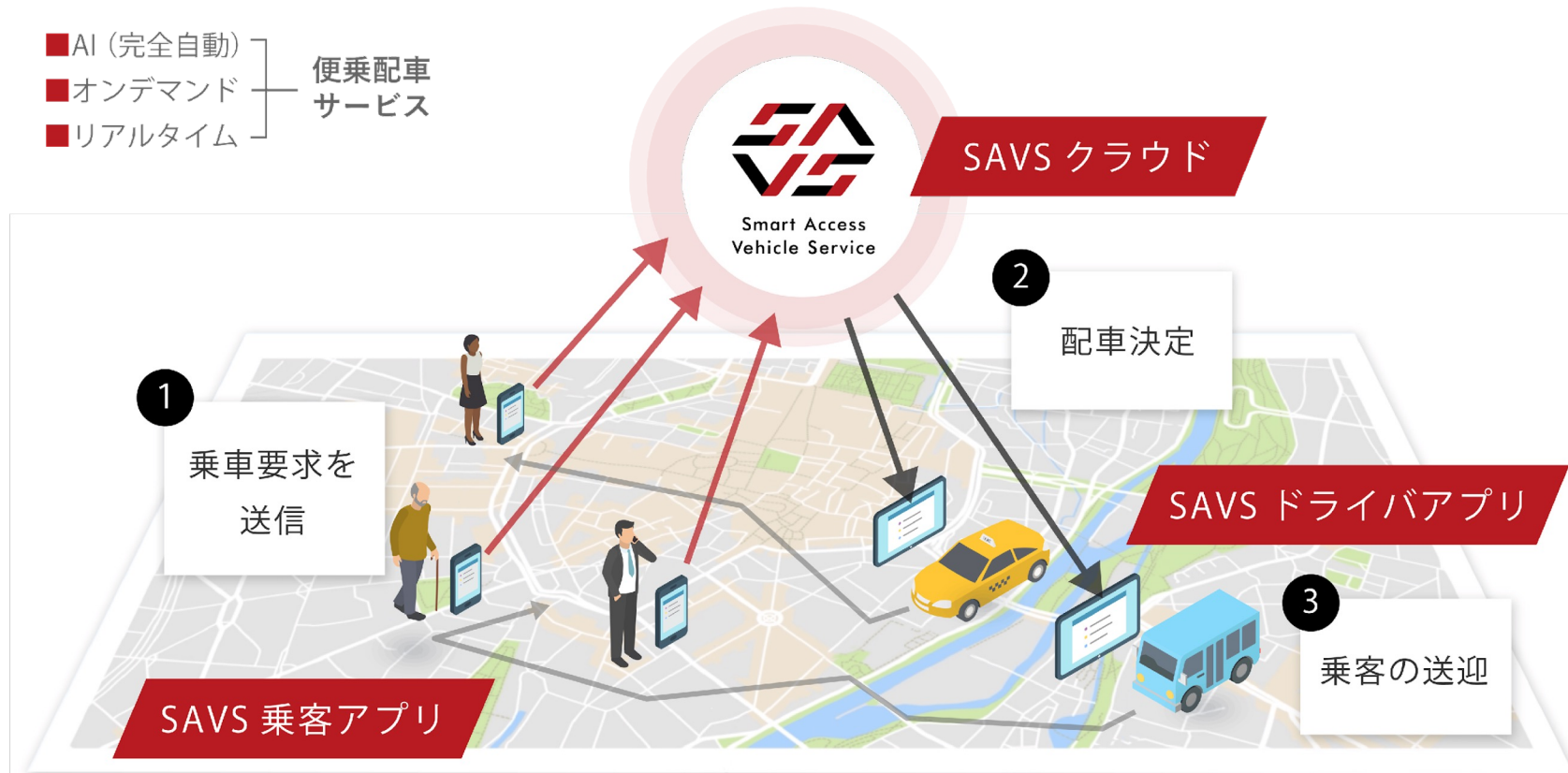
<https://www.miraishare.co.jp/>

Smart Access Vehicle Service (SAVS)

システムの概要

AIによるリアルタイムな便乗配車計算を行うサービス。
タクシーのオンデマンド配車とバスの乗合運行を掛け合わせ、都市レベルでの最適交通を実現する。

- AI (完全自動)
 - オンデマンド
 - リアルタイム
- 便乗配車
サービス



Smart Access Vehicle Service (SAVS)

オンデマンド・リアルタイム 便乗配車



1. デマンドに応じて車両が走行

2. 異なるデマンドが発生

3. リアルタイムにルート最適化

AIによる高速計算で オンデマンド・リアルタイム **便乗** 配車を実現



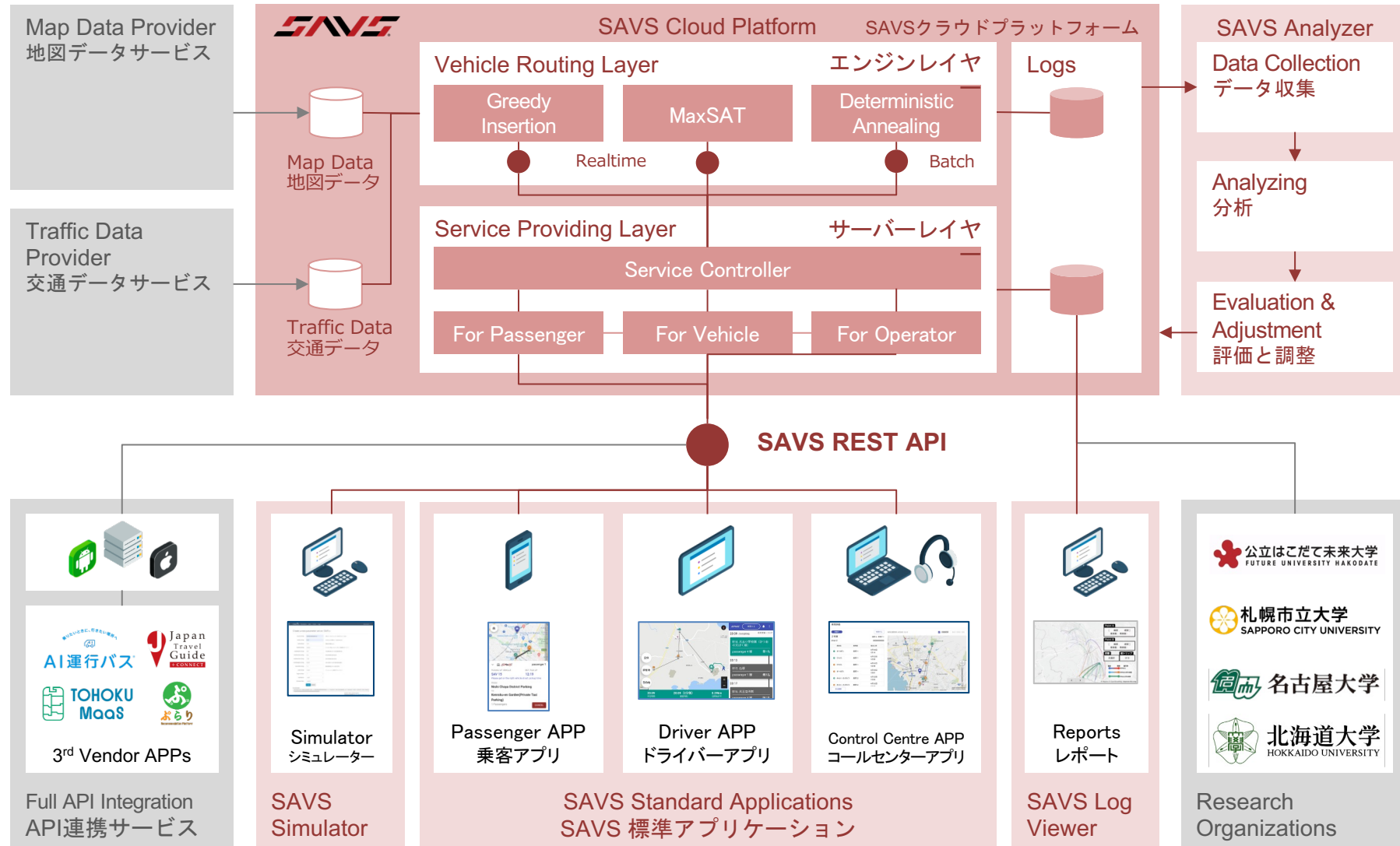
空車のまま走行する公共交通

実要求に則した**新型公共交通**

空き座席の有効活用で空車と待ち時間と走行距離を削減
無駄のない公共交通を実現

Smart Access Vehicle Service (SAVS)

SAVSシステム基本構成



Smart Access Vehicle Service (SAVS)

SAVS API 連携サービス・アプリ各種

株式会社 NTTドコモ

乗りたいときに、行きたい場所へ

AI運行バス



大日本印刷 株式会社

DNP 大日本印刷



デジタルサイネージからデマンド交通を予約

株式会社 JTB

Japan Travel Guide +CONNECT



株式会社 駅探

From the Stations 駅から始めよう

駅探 MaaS パック

電話自動音声予約サービス

案内：自宅から乗車の方は'1#'を押して下さい

案内：目的地の番号と'#'を押して下さい

案内：乗車人数と'#'を押して下さい

JR東日本

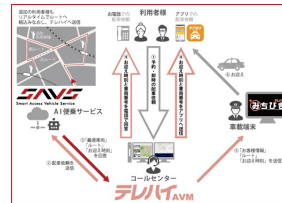
よぶのる一関 YOBUNORU・ICHIKUSEKI

よぶのる角館 YOBUNORU・KAKUNODATE

名古屋鉄道



株式会社 システムオリジン



従来のタクシー配車システム内で乗合サービスを提供することが実現

伊那ケーブルテレビジョン株式会社



高齢者が慣れ親しんだリモコンで操作



テレビリモコンでデマンド交通を予約

共同研究実施機関

公立はこだて未来大学 FUTURE UNIVERSITY HAKODATE

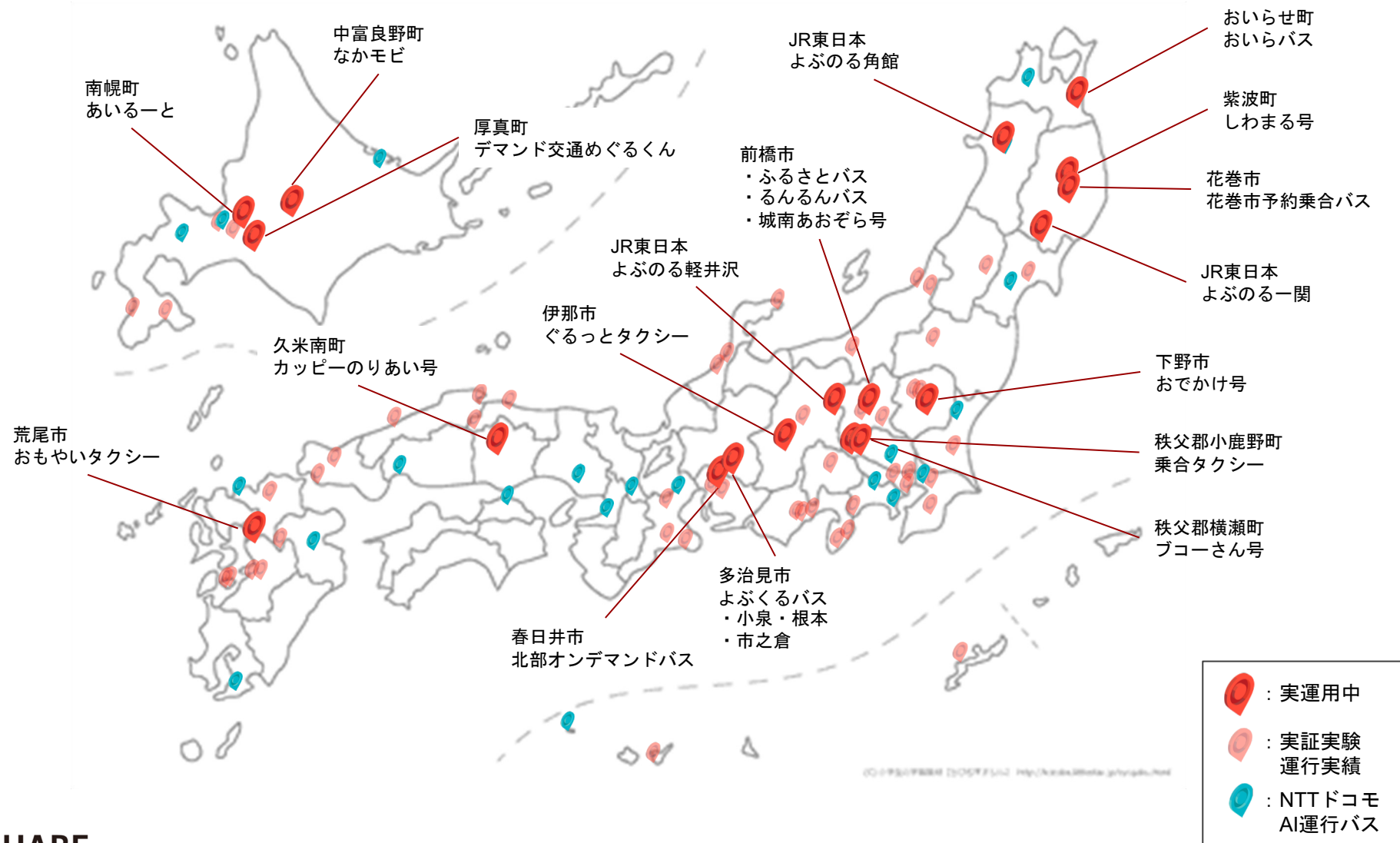
名古屋市大学

札幌市立大学 SAPPORO CITY UNIVERSITY

北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY

実績・事例

SAVSの全国展開：実証実験実施・運行地域

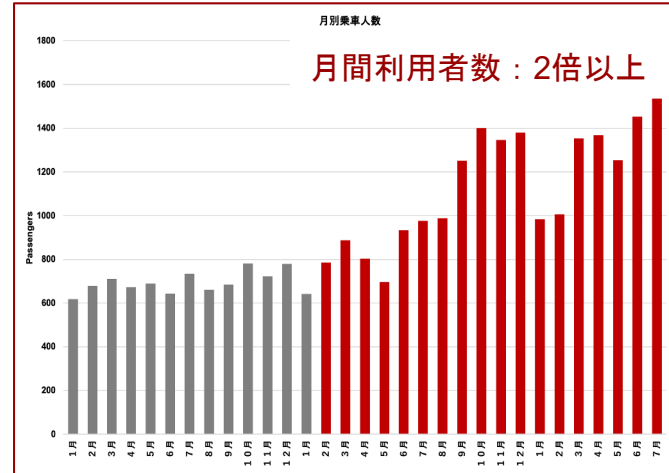
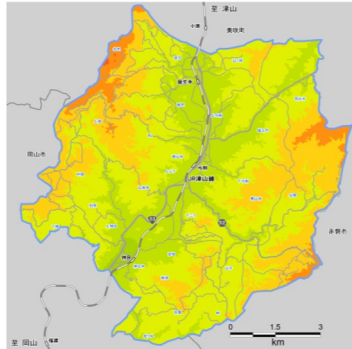


自治体の取り組み 実績・事例

岡山県久米南町：カッピのりあい号

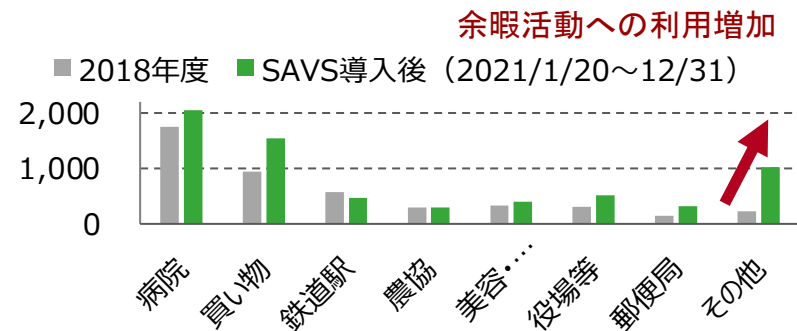
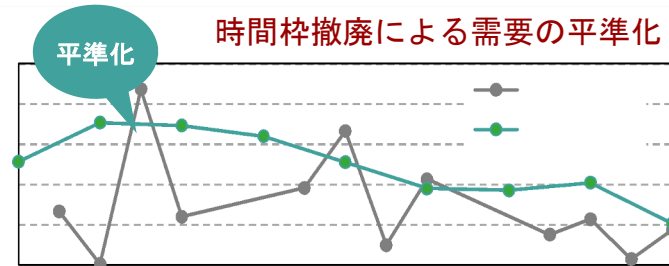
既存データを使ったシミュレーション調査

- 台数別の平均待ち時間、乗合発生率
- 全車両の総走行距離
- 曜日別、時間別効率
- 適正車両台数
- 適正車両サイズ（座席数）
- エリア分割の妥当性
- 時間制限撤廃による影響



2020/1/20 新ルールでの運行開始

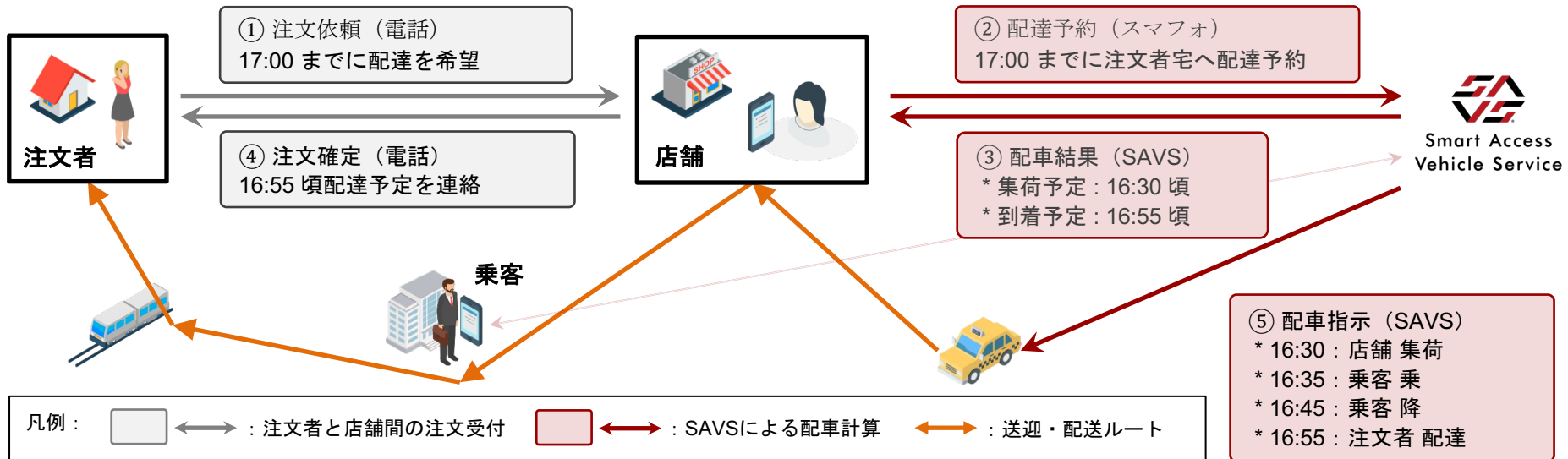
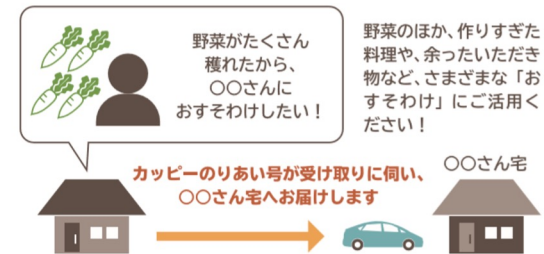
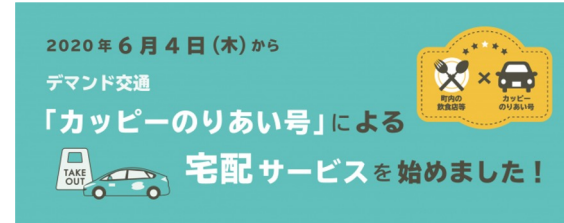
サービス	変更前 ~ 2020/1/17	変更後 2020/1/20 ~
車両台数	6	4 + 予備車両1
時刻表	1日12便から選択	なし（今すぐ希望も可）
予約締切	乗車希望の1時間前 早朝便は前日予約可	時間内いつでも可 前営業日予約可
運行エリア	町内5ゾーン内の移動 (ゾーン間は乗り換え)	制限なし 町内どこでもドアツードア移動
予約方法	電話予約	スマホ (Web) or 電話予約



自治体の取り組み 実績・事例

カッピーのりあい号 貨客混載 宅配サービス

- ❓ 宅配時間：8:15～17:00
- ❓ 配送料：1ケース¥300（5kg以内）
- ❓ 配達予約方法：商品提供店舗からのスマートフォン（Web）予約 / コールセンターへ配達依頼
- ❓ 町内全域のドア・ツー・ドア公共交通を物流へ応用
 - フードデリバリー（飲食店→自宅）
 - 買い物代行サービス（商店→自宅）
 - おすそわけサービス（自宅→自宅）



未来シェアの取り組み

交通に関する社会課題の解決

交通空白地の移動手段

- 高齢者の免許返納促進
- 過疎地域の交通手段確保
- 外出の促進と健康維持

ドライバー不足

- 運送・輸送の効率化
- 需給バランス適正化
- 労働条件の改善

都市計画

- 企業・住民・観光誘致
- 渋滞緩和・災害対策
- 交通維持への支出抑制

AI・ICTプラットフォーム
による課題解決



事業者に対する課題解決：効率的な配車手段の提供

乗客不在の走行を減少、車両あたりの移送乗客数を増加
経費の削減と利用者数増加



利用者に対する課題解決：移動手段利用格差の解消

移動手段利用格差の解消、便利で低コストな移動手段を提供



社会に対する課題解決：環境保全、地域経済の活性化

渋滞緩和とCO2排出量削減などの環境保全、災害発生時の交通手段確保、人々の移動を促し地域経済の活性化に貢献

